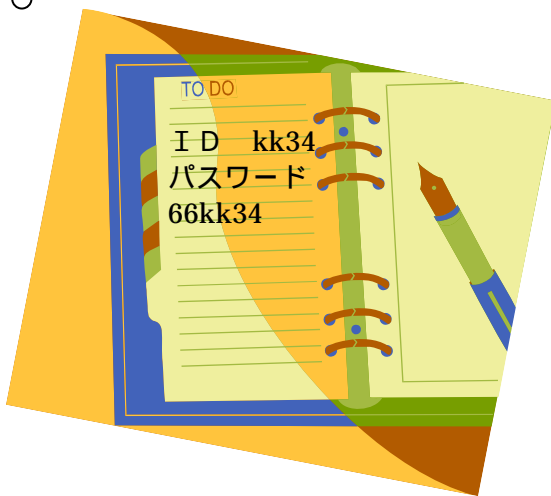


他人になりすますと？



これはだれかのIDとパスワードだ。これで、アクセスしてみよう。メールが見られるかな？

ログインできるぞ。メールも見たし。いたずらメールも、はい送信。

何日かして



ぼくの名前でいたずらメールが友だちのところにたくさん届いているらしい。だれが無断でいたずらメールを出しているのかな？

すぐにパソコン室の利用記録と、ログを見て、いたずらメールを出した人を調べなければならないな。



これは不正アクセスという行為で、罰せられるんだよ。

不正アクセス行為の禁止などに関する法律

この法律では、次のことが禁じられています。

- ・他人のユーザIDやパスワードを使ってコンピュータを不正に使用する行為
- ・セキュリティ上の弱点を攻撃してコンピュータを不正利用する行為
- ・保存されているデータやプログラムを改ざんする行為
- ・コンピュータを利用不能な状態に追い込んだりする行為

ポイント

他人のパスワードを使ったり、パスワードを入力したりしたままで放置されたパソコンを勝手に使用することを、不正アクセスといい、法律で禁止されています。

IDやパスワードが知られると、他人があなたになりすまして犯罪を起こすかもしれません。IDやパスワードは、他人に知られないように管理しましょう。

< 背景 >

インターネットの普及とともに、不正アクセスが増加しています。これにともない、平成 11 年に不正アクセス禁止法が成立しました。不正アクセスとは、他人の ID・パスワードなどを悪用して、不正にネットワークに進入し、ファイルを盗み見たり、削除・改変したりすることです。

< 事件事故の例 >

例 1 不正アクセス禁止法違反

生徒は、友人宅で、別の友人の ID とパスワードをパソコンに入力し、ゲーム配信会社に、不正に 1 回アクセスした疑い。ID とパスワードは、別の機会に友人が独り言で言ったものを近くで聞いて知っただけ。

例 2 不正アクセス禁止法違反

警察は、他人の Web ページに不正にアクセスし、改ざんしたとして、中学 1 年の女子生徒を補導し、児童相談所に通告した。女子生徒は「警察が来るとは思わなかった。ごめんなさい。」と反省した様子だという。

< 指導上の留意点 >

ネットワークを使って、他人のコンピュータに侵入しただけで、住居侵入などと同じように犯罪になること、また、不正アクセスを助ける行為も同様の犯罪行為であることを、しっかり理解させましょう。

不正アクセスを防止するためには、次のことが有効です。

- 1 . ユーザ ID とパスワードをきちんと管理する。
- 2 . コンピュータのセキュリティホールの修正プログラム(セキュリティパッチなど)を常に適用する。
- 3 . 自宅のコンピュータなどで、インターネットが常時接続になっていても、使用していないときは電源を切っておく。
- 4 . ゲームセンター、ゲーム喫茶、他人所有のパソコンなどで、ID やパスワードを入力する Web ページにはアクセスしない。

< 解説例 >

ネットゲーム上の不正アクセスでは、苦労して手に入れたはずのアイテムがなくなっていたり、前回遊び終えたときと状態が異なっていたりするなどの例が報告されています。

こんな時は、次のように対処しましょう。

- 1 . システム上の問題という可能性もあるので、ゲームの運営会社に状況報告をし、原因特定のための情報を得ましょう。
- 2 . パスワードを変更しましょう。不正利用者に変更されてしまいログインできない場合は、運営会社に連絡し処置してもらいます。
- 3 . 新たにパスワードを設定するときには、アカウントと同じであったり、家族の名前、誕生日であったりといった、他の人に見破られやすいものは避けましょう。この機会にきちんとしたパスワード管理を身に付けましょう。

